

汚れちまつた悲しみに……」書かれていないことを読み取る

○年○組○番○

○ 月 ○ 日 ○

「わかりやすさ」の対象として、「中学校1年生がわかる」

表現を目指す。

《フオーマツト》各行（1～16）ごとに改行を入れて記す。

行頭に行番号を記す。題名と作者名を1～2行目に記す。その他はいつもと同じ。

## 《注意点》

①とにかくこだわる。「わからないところを自分で見つけて、それをわかるようにする。」ことを心がける。とにかく、いつもなら「そんなのわかってる」とやり過ぎするような言葉をしていくこと。

つもなら「そんなのわかっている」とやり過ぎのような言葉にも注目をして、こだわって、解釈をしていくこと。

② 詩人は細部にこだわって言葉を選ぶ。どうしてその言葉が使われているのか、絶えず疑問を持つ

〔例〕「汚れっちまった」……「汚れた」ではだめなのか？「っちまった」と表現することで、どんな雰囲気、イメージを表現しようとしているのか。

③ノートに書くときは、詩の文法や語順をあまり変えないで言葉を換えたり、補ったりすること。

（※百人一首の「鑑賞文」と一番大きく違うところ。）

④ 5 W 1 Hを頭に置いて、  
どんどん補っていくこと。

⑤

《視点例 第一連》注意すべき表現を示す。その他の表現にもこだわって考えてみることにしよう。

● 誰の「悲しみ」？話者のものなのか、話者とは別のものなのか？

●汚れた「悲しみ」とは？そもそも「悲しみ」は「汚れ」るものなのか？

● 「悲しみ」に「小雪」が「降りかかる」とはどういうこと？

●大雪ではなく、「小雪」なのはなぜ？「桜の花びら」、「落ち葉」ではだめなの？

● 「吹きすぎる」を別の言葉で言い換えると？

●「悲しみ」に「風」が「吹きすぎる」というのはどういうこと？

● 「さえ」の意味は？

